

ふしみさらだボール子育て情報



「子ども同士の仲間作り」

令和6年5月29日号

板橋富士見幼稚園



遊びの面白さと学び

ある時、5歳児の男児3人が、段ボール箱をいくつも積み重ねて基地作りを楽しんでいました。その様子を見てみると、A男がB男・C男に、「窓を作るから段ボールを切って」と指示し、B男・C男は段ボールカッターで一生懸命切り出した窓（四角）をA男に手渡し始めました。A男はちょっと偉そうに「もっと作って」と命令しています。B男・C男がさらに窓を切り始めると、3人の遊びを見ていたD男がやってきて「入れて」と何度も声を掛け、遊びに参加しようとしてきました。B男・C男が「D男が入りたいと言っているよ」と伝えると、「だめ!」と返答し、B男・C男が「だめだってよ」と伝えると、横で黙って段ボールを使って、B男・C男とは違った作り方をして見せました。B男とC男は「D男がこんなの作ったよ」と作った段ボールを見せると、その場で「入れていいよ」とまた偉そうに返答し、結果としてD男がと4人が仲良く遊び始めたという事例があります。

これは1つの事例ですが、多様な体験や遊び込む経験を通して技術技能を習得してきたことが、人を説得する力となって、遊びに入れてもらえるという結果が生まれてくることもあります。つまり、乳幼児期から様々な遊びと出会い、好奇心をもって体験し、その体験からより深く興味や関心を持って技術技能を磨くことも、友達関係を創り出す秘訣になるのです。

ご家庭でも是非、遊びの継続性を大切に「今日の続きを明日もやろう」と、親の知恵も入れながら、遊びを深めてあげることが大切になっていただきたいと思います。

【いちごの収穫祭】

年長さんと話し合いながら準備を進め、いちごのケーキ屋さんとジュース屋さんを開きました。年少・年中のお友達もドキドキしながらお買い物し、本物の美味しいケーキやジュースに感動した特別な1日となりました。

